

入レレバ宜シイ

外交ヲヤレト云ウテモ米トノ工作ハ之以上積カヌト思フ

内相 獨ニ對シテハ三國條約ヲ基調トシテト入レラレ度

六月二十八日第三十五回連絡懇談會

國策要綱、對獨通告文等ニ關スル件

一 出席者前回通り

二 陸海軍案ニ對スル主トシテ外務大臣ノ修文意見ヲ討論シ、概ネ大本營案通り意見一致ス

之ヨリ先本日午前、兩軍務局長、外相及外務次官等ト折衝シ、大本營案ニ外交ニ關スル事項ヲ特ニ含メタル一案ヲ作成シアリ

決定案ハ右成案ノ要領ニニ「對佛印、泰施策要綱及」ヲ挿入シタルニ逃キサルモノトス

三 外相先ツ方針第三ノ如何ナル障害ヲモ排除ストアル中ニハ、外交手段ニ依リ排除スルノ意ヲモ含ムモノト解ス、又要領三ノ三國條

參謀總長 獨ニ云フコトハ出來ヌ、情勢有利ニ進展セバデアツテ、
過早ニ參戰スルト云ウテ有利カ來ナカツタラ強ナ事ニナル
軍令部總長 參謀總長ニ同意見ナリ

(之レヨリ先、軍令部總長ヨリ參謀總長ニ對シ、獨ニ參戰ト云フ
コトハ絕對ニ反對ナリト海軍側ノ強イ意志表示カアツタノテ、
外相ノ右發言ニ對シテハ參謀總長及次長共默シテ斷ラサリシ所
海軍側ハ總長始メ三人トモ同様全然發言セス、暫ク沈黙ヲ保チ
タル後、外相ヨリ參謀總長如何デスカト質問セラレタルニ依リ
總長ハ右ノ如ク答ヘタル所、海軍總長同意見ナリト述ヘタル次
第ニシテ、此ノ邊海軍側が絕對不同意ナリト意志表示シツツ、
表面ニ立チテハ其旨發言セス、其真意邪逆ニアルヤ瞭解ニ苦シ

△所ナリ

外 相 六月二十二日ニ「オツト」ヲ通シ、帝國ハ三國樞軸ヲ
基調トスヘキコトヲ獨側ニ電報シタル所、「リッペン」
ヨリ感謝シ來レリ

尙大島ヨリ依然佛印ヲヤルカト質問シテ來タノテ變化ナ
シト答ヘオケリ

大島カ「リッペン」ニ對英攻撃ヲヤルカト質問セルニ對
シ、現在ハ潛水艦ノ效果ヲ待ツテ居ル、又無條件降伏テ
ナケレバ對英講和ハセスト述ヘタルカ如シ

外 相 佛印ニ對スル施策ヲ止メテモラヘレバ結構ダガ、狀況ニ
變化アレハ止メラレ度

其以上ヲ以テ國策要綱ノ決定ヲ見ルニ至ル

三十日午後五時ヨリ連絡懇談會ヲ開キ對獨逸告文及帝國政府ノ聲明ニ關シ審議シ、又七月一日午前開議ニ國策要綱（就動事項ヲ除ク）ヲ附議シ、午後御前會議ニ於テ 御認斷ヲ仰クコトニ決ス
右御前會議ニハ樞密院議長、大藏大臣、金匱院總裁ヲ加フコトニ定ム

尙御前會議ニ於テ決定ヲ見ルニ至ル迄一切本件在外使臣ニ通告セサルコトトス

六月三十日第三十六回連絡懇談會

國策要綱開議提出案、對獨逸告文、政府聲明案、

御前會議ニ於ケル外相御説明案等ニ關スル件

一 自午後五時至同九時

今岡ハ特ニ金匱院總裁、大藏大臣、商工大臣ヲ加ヘタリ

ニ要旨

首照ノ件ニ關シ懇談スル豫定ナリシ所、連絡懇談會議ニ於テ決定シ上奏御裁可ヲ得タル南方施策促進ニ關スル件ニ據ル南都佛印進駐ニ關シ、外相ヨリ續延（約六月）ノ意見出テ、之カ論議ニ時間ヲ費シ、結局佛印進駐ハ豫定通り實施スルコトニ決シ、又開議提出案及政府聲明案ハ決定ヲ見タルモ、對獨逸告文及外相御説明案